

## 2 . 経営方針

### (a)経営の基本方針

当社は、2010年までの10年間を対象としたグループの経営施策の基本方針「グランドデザイン2010」（以下、GD2010）を2001年度よりスタートしております。この基本方針に基づき、当社のミッションである「社会発展への貢献」のもと、「企業価値の長期的最大化」を経営目標に、21世紀企業の創造を目指しております。

その第一段階として、「グローバルでの勝ち残り」に向け2005年3月期を目途とした中期目標として、グローバルベースでの企業価値創造企業へ、そのベースラインとなるROE10%の実現、個々の事業の最強化へ、分社を含めた各事業の自律運営の徹底、NYなど海外証券市場への上場も視野に入れた、グローバルで認知される経営の透明性のさらなる向上、これら3点を目指しております。

### (b)利益配分に関する基本方針

短期的な利益配分としましては、連結業績をより重視した配当政策を基本方針としていく予定です。

一方、将来の事業拡大や今後の経営環境の変化に備えた内部留保を確保した上で、安定的に株主の皆様へ利益を還元していくこともまた重要と認識しております。

また株主の皆様への長期的な利益配分といたしまして、従来から自己株消却を実施いたしておりますが、今後とも新しい制度での自己株取得などを通して、利益配分の安定と向上に努めてまいります。

### (c)投資単位の引下げに関する考え方および方針等

当社は当社株式の流動性向上ならびに株主数の増加を資本施策上の重要課題と認識しております。現在の株価水準と投資最低金額を考慮し、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるために株式投資単位を引き下げる方向で検討を進めております。

なお具体的な施策ならびに時期などにつきましては未定です。

### (d)目標とする経営指標

当社は、上記GD2010において、株主資本当期純利益率（ROE）を経営指標とし、2005年3月期を目途としてROE10%を目指し、業績向上に努力してまいります。

### (e)中長期的な会社の経営戦略

GD2010に掲げた中期目標の達成を確実なものとするため、今後3年間の年度方針を「事業最強化」とし、その副題を2002年度「グループ生産性構造改革の貫徹」、2003年度「構造改革から創造へ」、2004年度「成長への構造確立」としております。特に2002年度から2003年9月までの18ヶ月間は、グループ全社活動による生産性向上のための構造改革施策「VIC21」（以下、VIC21）を実行しております。VIC21の狙いはGD2010の諸施策を「質」と「スピード」の両面で加速させることですが、具体的な目標として グループ固定費・変動費300億円の削減、海外生産・調達比率50%増、不採算事業・低採算事業の一掃、を掲げています。

#### (f)会社の対処すべき課題

当社の主力事業の商品ならびにサービスはIT、半導体業界などの設備投資関連分野や電子・電気機器製造における民生用電子部品として利用されております。

今後当社の業績を安定させ継続的な成長を維持していくために、中国をはじめ海外での生産を高め、需要変動に抵抗力のあるコスト競争力を強化していくと同時に、当社の強みである「センシング&コントロール」技術をさらに幅広く活用できる分野への新商品や新事業の展開に取り組んでいきます。

#### (g)経営管理組織の整備等に関する施策

企業を取り巻く経営環境が激しく変化するなか、その変化のスピードに迅速に対応する経営体制確立、経営のグローバル標準化、ならびに経営の透明性・公平性の確立は、コーポレートガバナンスの充実には必要不可欠な施策と認識しております。その施策の一環として迅速な情報開示に努めるとともに、経営と執行の分離を推し進め、社外取締役や社外監査役制度の導入を図ってまいりました。今後ともこの施策をさらに進め、グローバル企業として勝ち残るために必要なありとあらゆる経営の変革を推進します。